

輸出事業計画

※申請者名：JA福井県、品目：コメ

1. 輸出における現状と課題

JA福井県は福井県内10JAが合併し、福井県一円の農業を担う農協として発足(令和2年4月1日)した。

基幹品目である米については、国内の米消費量が年々減少する中、需給調整の一環として、輸出用米を拡大させる重要性が増している。JA福井県においても「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づく輸出重点品目」のコメの輸出産地リストに掲載(令和3年2月)され、輸出拡大に向けた体制構築を進めている。

当組合における米の輸出先国・地域は香港、シンガポール、タイ、ドイツとなっており、主にアッパー層を対象に「コシヒカリ」と「ハナエチゼン」を輸出している。

さらなる米の輸出拡大に向けて、輸出パートナーと協力し、競争優位を形成する輸出用米の生産販売体制を構築し、加えて、福井県農業試験場が育種した多収・良食味米の新品種「越南305号」を軸に、ターゲット国における外国産米のシェアを獲得し得る、輸出用米の産地づくりを進める必要がある。



	生産・流通段階	販売段階
課題	越南305号を導入した、輸出用米の生産・流通体制	① 越南305号の販路開拓 ② 新たな市場への販路開拓

2. 輸出事業計画の取組内容

(1) 越南305号を導入した輸出用米の生産・流通体制構築

- ・ 県内全域での実証圃設置と、試験機関等による評価調査による検討
- ・ 輸出用米「越南305号」の県内産地及び生産者の特定
- ・ 既存品種の輸出産地づくり、流通コストの削減

(2) 越南305号の販路開拓

- ・ 輸出パートナーと協力し、国・地域別のターゲットに適した販促活動を実施(取引先への試食会、小売店での福井フェア等)を実施

(3) 新たな市場への販路開拓

- ・ 輸出パートナーと協力し、ターゲットに応じて、販促活動や輸送実証を実施(米の市場調査や輸送実証調査、インフルエンサーによる米PRやホテルでの福井フェア等)

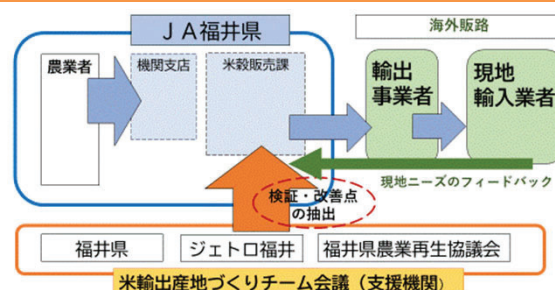


【左】
越南305号

【右】
コシヒカリ

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

米の生産・流通体制を関係機関一体となって検討する「米輸出産地づくりチーム会議」で、事業効果や波及効果を検証(PDCAサイクル)し、競争力のある米の輸出産地を構築する。



4. 輸出目標額

項目	現状(令和2年度)	目標年(令和6年度)
輸出額	130,393千円	399,022千円
輸出量	787 t	2,655 t
輸出先国	香港、シンガポール タイ、ドイツ	香港、シンガポール、タイ、ドイツ、 中国、インドネシア